地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	すずき　くにはる	
氏名	鈴木　邦治	
所属・役職	一般社団法人 頑張る地域支援し隊 代表理事 内閣府 地域活性化伝道師 宜野座村むらづくりアドバイザー 総務省 地域力創造アドバイザー	
活動拠点	沖縄県を中心に活動中	
略歴	１９８０年 卒業後、横浜で宇宙開発地上装置開発に従事 １９８４年 退職し個人として各社のハードやソフト開発支援 １９８５年 拠点を沖縄に移し株式会社ビープを設立　社長に就任 計測機器やセンサーなど機器制御を含むシステム開発の側ら、新産業（ＩＴ）創出による地域振興を沖縄県や名護市に提案。具現化に向け名護市嘱託職員として貢献し「名護市マルチメディア館」館長に就任 ２０００年 名護市役所に転職　ＩＴ推進室長に就任 北部広域市町村圏事務組合ＩＴ推進協議会長や通信放送機構研究指導員、雇用・能力開発機構委員も兼任。 企業誘致や雇用創出、人材教育ほか全般的なまちづくりや北部広域ネットワーク（光通信網）を構築し北部市町村の情報化を推進 ２００４年 名桜大学に転職　北部生涯学習推進センター長に就任 沖縄工業高等専門学校非常勤講師や内閣官房地域活性化伝道師 北部ＩＴ推進協議会長、宜野座村むらづくりアドバイザー、 おきなわＩＣＴ総合戦略有識者などを兼任 ２０１６年　退職し（一社）頑張る地域支援し隊を設立　代表理事に就任	
地域情報化の専門分野・技術	農林水産業・観光、地域ビジネス、スマートシティ、ＩｏＴ基盤、働き方、医療・介護・健康、教育の実践経験あり	
自治体向けメッセージ	産業活性化や雇用創出、教育、福祉など地域全体で推進する振興企画から具現化までを得意としております。	
関連ＵＲＬ	一般社団法人頑張る地域支援し隊 https://peraichi.com/landing_pages/view/yanbaru 又は、“沖縄　鈴木邦治”でネット検索してください	

地域情報化 に関する実績	これまでの経験業務・研究活動
	当初は制御系の技術者でしたが、産・官・学と転職し数々の経験をさせていただきました。 自営時には製糖工場やビール工場の制御から、センサーによる農業・酪農管理、ＧＰＳや携帯利用の観光誘導システム、デジタルマップによる介護システムなど多種多様な開発に携わりました。 また、役所時には地域情報化まちづくりを推進し、農業・観光、地域ビジネス、スマートシティなど多くの施策を立案し実施（失敗も多々）しました。その後、高専・大学の教職員として、また研究者として、学生達に最新ＩＴ実証実験や沖縄総合通信事務所と県内クリエーター育成イベント「沖縄デジタル映像祭」などの開催、地域住民向けテレワーク講座などを開設し地域活性化に努めてきました。 現在はその経験を生かし（一社）頑張る地域支援し隊を設立し、自治体支援に役立てております。また映像祭だけではなくＩｏＴハッカソン（技術者育成）など県内次世代人材育成にも貢献しております。
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト
	○情報通信広報イベントプロデュース ・沖縄ＩＴ総合展示会（１９８８年～２００６年） ○人材育成 ・沖縄デジタル映像祭（２００４年～） ・テレワーク人材育成事業(２００６年～２０１０年) ・ＩＴ技術者育成事業（２０００年～２００８年） ・Web×IoT メイカーズチャレンジ 2017（ハッカソン） ○名護市情報化構想（１９９７年～２００８年） ・名護市マルチメディア館建設、名護市イントラネット構築ほか ○北部１２市町村情報化構想（１９９９年～２０１４年） ・北部広域ネットワーク構築 ○ＩＣＴ研究事業（１９９８年～２０１３年） ・ＤＢ構築や観光情報、医療・福祉、小中学校の情報化等の開発や実証実験、共同研究を実施 ○北部市町村情報化事業（２００２年～） ・イントラネット（宜野座村、東村、大宜味村）整備事業 ○その他事業 ・地域 IoT 実装推進セミナー（小学生向けプログラミング教室） ・宜野座村むらづくりアドバイザー ・要介護者デジタルマップ整備 ・名護市地域情報化研究会｛公民館を巡りインターネット講座｝